



カメラ記者クラブと TIPA との会談で将来的な相互協力を確認

[プレスリリース]
2010年9月25日・ケルン
カメラ記者クラブ

日本の主要なカメラ・写真雑誌で構成されるプレス団体・カメラ記者クラブ (C. J. P. C./japan 代表幹事：柴田 誠) は、ドイツ・ケルンで開催されたフォトキナ (2010年9月21日-26日) の会期中に、欧州を中心とするカメラ・映像の雑誌団体・TIPA (The Technical Image Press Association the Chairman: Thomas Gerwers) と会合を持つ機会を得ました。代表メンバーによる数回の会合とディスカッションの結果、両団体は将来にわたって協力関係を築いていくことを確認。最終的に、相互の団体の会員となることなどを含む合意文書に署名し、会合の成果を形あるものとして残すことができました。

今回の合意書の締結について、TIPAのChairmanである Thomas Gerwers氏は、「TIPAとカメラ記者クラブの両団体が、TIPAの振興のためにもともに活動できることを非常にうれしく思っています」、またカメラ記者クラブの代表幹事・柴田 誠は「我々は、将来的な相互活動に合意したことで、両団体がより親密な関係を築いていけるであろうことを喜ばしく思っています」と、両団体の代表が声明を発表しています。

今後、両団体は相互の団体の会員としての立場を確立し、それぞれの団体の活動を各国のメディアやイベントを通じてアピールしていきます。また、TIPAが主催するTIPA Award、カメラ記者クラブが主催するカメラグランプリの選考委員としても、お互いにその選考に携わります。

【カメラ記者クラブ】

日本国内で発売・発行されているカメラと写真の専門誌の団体。加盟誌の製品担当編集者で構成される。その活動は各誌の読者とメーカーとの橋渡しとして役割にとどまらない。カメラグランプリの開催をはじめ、各種写真イベントへの協力なども行い、メンバー相互の緊密な情報交換を通じて、業界の活性化にも大きく貢献する。加盟誌は「アサヒカメラ」(朝日新聞出版)、「カメラ年鑑」(日本カメラ社)、「カメラマン」(モーターマガジン社)、「CAPA」(学研パブリッシング)、「コマーシャル・フォト」(玄光社)、「デジキャパ!」(学研パブリッシング)、「日本カメラ」(日本カメラ社)、「PhaT PHOTO」(シーエムエス)、「風景写真」(風景写真出版)、「フォトコン」(日本写真企画)、「フォトテクニック デジタル」(玄光社)の11誌。

<誌名順・2010年9月現在>

【TIPA】

欧州を中心に活動する写真と映像の専門誌の団体。毎年、40カテゴリーにも及ぶTIPA Awardを選定し、表彰している。2008年のフォトキナで、欧州の外にメンバーの枠を広げるグローバル化を宣言。これにより、新たにオーストラリア、カナダ、中国、南アフリカ、アメリカ合衆国のカメラ専門誌が加盟。現在は14の国と地域が発行する30誌が加盟している。

【問い合わせ先】

カメラ記者クラブ press10@cjpc.jp

TEL. 03-3263-3517 代表幹事 柴田 (フォトテクニックデジタル編集部)

〒102-0082 東京都千代田区一番町25 JCIビル 日本カメラ財団内